

製品名: ATPBD3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07348**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	CTU1 CTU1; ATPBD3; NCS6; Cytoplasmic tRNA 2-thiolation protein 1; ATP-binding domain-containing protein 3; Cancer-associated gene protein; Cytoplasmic tRNA adenylyltransferase 1
別名	
遺伝子 ID	90353.0
SwissProt ID	Q7Z7A3
免疫原	抗血清はヒト ATPBD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

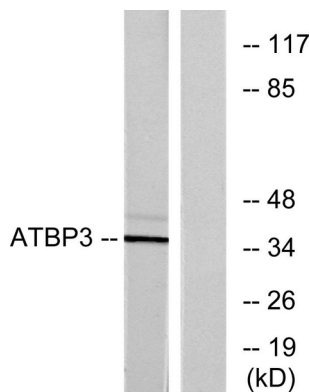
背景

機能: tRNA(Lys)、tRNA(Glu)、および tRNA(Gln)の tRNA ウォブル位置における mcm(5)S(2)U の 2 位チオレーションにおいて中心的な役割を果たす。tRNA に直接結合し、2 位チオレーションに必要な中間体である tRNA のアデニル化を触媒すると考えられる。チオカルボキシル化された URM1 から tRNA のウォブル位置のウリジンに硫黄を転移する硫黄転移酵素として機能するかどうかは不明である。経路: tRNA 修飾; 5-メトキシカルボニルメチル-2-チオウリジン-tRNA 生合成。類似性: ttcA ファミリーに属する。CTU1/NCS6/ATPBD3 サブファミリー。サブユニット: 少なくとも URM1、CTU2/NCS2、および ATPBD3/NCS6 からなる複合体の構成要素。CTU2/NCS2 とのヘテロ二量体を形成する可能性がある。機能: tRNA(Lys)、tRNA(Glu)、および tRNA(Gln)の tRNA ウォブル位置における mcm(5)S(2)U の 2-チオレーションにおいて中心的な役割を果たす。tRNA に直接結合し、おそらく 2-チオレーションに必要な中間体である tRNA のアデニル化を触媒することによって作用する。チオカルボキシル化された URM1 から tRNA のウォブル位置のウリジンに硫黄を転移する硫黄転移酵素として機能するかどうかは不明である。経路: tRNA 修飾; 5-メトキシカルボニルメチル-2-チオウリジン-tRNA 生合成。類似性: ttcA ファミリーに属する。CTU1/NCS6/ATPBD3 サブファミリー。サブユニット: 少なくとも URM1、CTU2/NCS2、および ATPBD3/NCS6 からなる複合体の構成要素。CTU2/NCS2 とのヘテロ二量体を形成する可能性がある。

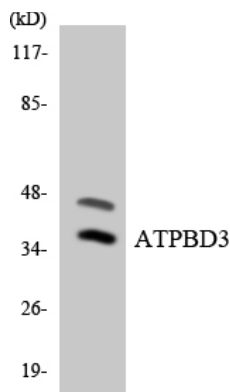
研究分野

-

画像データ



ATPBD3 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



ATPBD3 抗体を使用した 293 細胞からの溶解物のウェスタンブロット分析。